

今月号の

締め一杯

白河は全国的にも知られるラーメン処で、市内には100軒を超す店が点在しています。今月号からこだわりを持ち、おいしさを追求する店主たちの紹介していきます。

第1回

とら食堂



住 所：双石滝ノ尻1
営業時間：11:00～14:30、16:00～18:00
定休日：月曜日

昭和44年、竹井寅次さんが「中華そばとら」として郭内に創業。その後、昭和48年に「とら食堂」に改名し、現在地の双石で開店しました。現在は寅次さんの息子で、2代目の和之さんがお店を継いでいます。

早朝から仕込みを始め、スープは鶏がらと豚がらを弱火で煮込んだ澄み切ったしょう油味、麺は粉から手づくりあげの完全な手打ち麺。麺を切った後、手もみをして縮れにひねりを加えています。すべてにこだわり、手間暇を掛けることで、真似できない一杯を作っています。

「基礎作りをしっかりすることが大切です。店内にも目を配り、お客さんの年代を見て、微妙に味を作り分けています。今まで多くの弟子を育ててきましたが、重要なのはその人の人間性。人格がしっかりしていないと味もはっきりしません。現在は、2人の婿に味を引き継ぐことに力を入れていきます。今まで白河ラーメンを通してたくさんの人と出会ってきました。ラーメンで人づくり、まちづくりができることを実感しています。」と竹井さんは話してくれました。

人物Report

～注目のあの人を紹介～

えんどう きり
遠藤 桐さん

中央中出身で、高校女子バスケットボールの名門、桜花学園高校（愛知県名古屋市）でキャプテンを務めた遠藤桐さんが、3月22日に市役所を訪れ、昨年12月に行われた平成27年度第46回全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会の準優勝を市長に報告しました。

遠藤さんは4月から実業団に所属し、卒業後もバスケットボールを続けています。



最新の情報をチェック

《白河市ホームページ》



広報紙を電子書籍で！

《i広報紙》



旬な話題を写真でチェック

《白河市公式ページ》

